

東建パブリニュース

平成29年12月28日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年12月26日 住宅新報 P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

総合

東建コーポ・左右田稔社長に聞く

首都圏出店を加速化

民泊に近いホテル経営も

住まいづくり、住まい選びのキーワードの一つにあげられるのが「多種多様」。需要者側のそうしたニーズに総合建設事業者として応えるには何を重視し提案すべきか。40有余年の実績を積み重ねた不動産活用のパイオニア、東建コーポレーションの左右田稔社長に、多様性への対応と戦略を聞く。

（聞き手・播俊希）



「これからの住宅戦略の最重要点は？」
「首都圏への出店加速化に乗り出す。」

「リニア中央新幹線の開業し付け条件が厳格化し、土地の担保価値や将来の賃料収入によつては、賃貸住宅建設の融資が下りないケースが目立つ。地方に比べ収益性の高い首都圏の営業強化は必然だ。新規出店・移設を含め、首都圏に人材を重点投入する方向

ソートホテル（三重県桑名市で培ったノウハウやサービスを生かす。（新規高級ホテルを）宿泊業としての新ブランド旗艦ホテルとして位置付けている」

超高層ホテル型複合高級賃貸マンション棟。19年2月末完成予定）内に美術刀剣博物館『名古屋刀剣ワールド』を併設する。個人的に長年収集してきた選りすぐりの甲冑や刀剣、槍などを展示、展示品そのものが発する（美術品としての）魅力や当時の歴史・文化を来場者に伝えることができればと思う。感動や共感を得ることができると博物館づくりを目指す」

「今後をどう見通す？」

「貸家着工件数もピークアウトし減少傾向だ。企業として売り上げを伸ばすには、分母（営業マン）を増やしなが、企業のバックアップ体制（商品ラインナップ・メ

新卒採用、積極的に

「『博物館』も独自に開設する。『当社が現在建設中の『栄タワールズ』（名古屋市中区栄3、地上28階地下1階建て、全156戸の

以上